



いしかわ労福協

第685号 2025年9月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 福田 佳央
編集人 奥村 賢志
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<https://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

令和6年能登半島地震 被災者支援事業 「大阪・関西万国博覧会 親子バスツアー」



石川労福協では、令和6年能登半島地震で被災された方々を支援するため、連合石川と連携して復旧・復興に取り組んできた。今般、8月23日(土)・24日(日)の二日間、被災地の子どもたちの心のケアと未来への希望を育む機会として、河北郡内灘町西荒屋地区の児童(小学5・6年生)と保護者の皆さんを大阪・関西万博2025に招待した。

当日は猛暑にもかかわらず、子どもたちのキラキラと輝く瞳が太陽にも負けないうくらいまぶしく感じられた。保護者からは「万博に連れて行ってもらえて、本当に嬉しそうです」という感謝の言葉をいただき、震災からの道のりを思うと胸が熱くなった。子どもたちの笑顔が何より喜ばしく、被災地の皆さんに少しでも元気と希望を届けられたのではないかと感じている。

万博会場は驚くほどの人出で、パビリオン入場には長い行列ができ、見学できたパビリオンは少なかったものの、子どもたちは友達とのおしゃべりや会場の雰囲気を楽しんでくれたようである。夕食交流会でも万博での疲れを見せることなく、元気いっぱいだった。

2日目は、水陸両用バスに乗って大阪市内観

光、お好み焼き、道頓堀散策など、大阪の魅力を満喫していた。

今回の企画を開催するにあたり熱中症が心配されたが、こまめな休憩と水分補給を行い、また関係者の協力のおかげで、体調を崩す児童は一人もいなかった。参加者の口々から「楽しかった!」という声を多く受け、今回の経験が、子どもたちにとって未来への希望となり、どんな困難も乗り越えていける力の一助となることを心から願うばかりである。

最後に、この企画にご協力・ご支援をいただいた内灘町教育委員会、中央労福協、大阪労福協、さわやかUの関係者に、改めて心より感謝申し上げる。



ダックツアー・水陸両用バス前にて

福祉グラウンドゴルフ中央大会実行委員会を開催



福祉グラウンドゴルフ実行委員会

労福協ライフ・サポートセンターは、2025年7月24日(木)フレンドパーク石川において、

第23回福祉グラウンドゴルフ中央大会第1回実行委員会を開催した。

委員会には、吉崎建次金沢市グラウンドゴルフ協会事務局長、若林勇人石川県障がい者スポーツ協会事務局長を含む計7名が出席し、実施方法等について協議を行った。

今大会については、2025年10月22日(水)に開催することとし(当日雨天の場合は10月28日(火))、その他、競技ルール・スコアカードの集約方法・順位の決定方法について協議を行い、「大会実施要項」が確認された。近日中に、各地域ライフ・サポートセンター、石川県障がい者スポーツ協会において予選会が開かれ、本選に臨むこととなる。

労福協第3回理事会、第4回理事会



石川労福協は、第3回理事会を8月5日(火)、第4回理事会を9月10日(水)に開催した。協議事項では、2026年度(令和8年度)に向けた

各自治体への政策要請書の内容について審議を行い、正式に決定した。この要請書には地域の福祉向上に向けた具体的な提案が盛り込まれている。

また、中部労福協主催「労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」への参加を決定し、ろうきん、こくみん共済coop、ろうふく支援財団いしかわ、連合などから派遣を行うこととした。

中部労福協主催 「労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」

第11回自主福祉運動の歴史・理念・リーダー養成講座が、2025年8月7日(木)・8日(金)の二日間、ホテル日航奈良において開催され、石川からは、北陸労働金庫、こくみん共済coop石川推進本部、ろうふく支援財団いしかわ、連合石川それぞれ次世代のリーダーを担える人材が派遣された。

一日目には、「フードバンクの取り組みの必要性」「理念・歴史を振り返りながら更なる労

働者福祉運動の推進」といった講演を受けた。

二日目は、「労働運動・労働者福祉運動・協同組合のこれから」と題した講演の後、「これからの労福協」をテーマに、グループ討議と発表が行われ、各地の労福協が抱えている課題を共有し、今後の方向性について考える貴重な機会となった。

「こくみん共済 coop 石川推進本部 第 8 回組合員代表者会議」 および「石川県勤労者共済生活協同組合 第 70 回通常総代会」



挨拶される黒谷治夫本部長

2025 年 7 月 30 日(水)に、石川県女性センターホールにおいて、「こくみん共済 coop 石川推進本部 第 8 回組合員代表者会議」および「石川県勤労者共済生活協同組合 第 70 回通常総代会」を開催し、2024 年度事業報告および 2025 年度事業計画などのすべての議案を承認・決定した。

まず、こくみん共済 coop 石川推進本部代表者会議では、令和 6 年能登半島地震において「最後のお一人まで」共済金をお支払いする取り組みをすすめ、2024 年度の火災共済・自然災害共済の共済金の給付状況については、1,600 件 366,156,000 円の支払いとなった。

令和 6 年奥能登豪雨など、自然災害による大規模災害が多く発生している今、万一の際の経済的損失を共済の力でしっかり補填できるよう「住まいる共済」でしっかり備えていただくこと

を様々な方法で訴え、また、「無保障者をなくす取り組み」も継続して行く。

さらに、2025 年度は、「新しいたすけあい」の実践にむけた取り組みとして、公式アプリの導入促進と、「セット共済 WEB システム」での組合員や協力団体の利便性向上に向けた取り組みを展開する。

なお、代表委員選任結果が報告され、8 名の代表委員が新任し、新たに松岡親司事務局長が就任した。

・新任された代表委員はつぎのとおり。

事務局長	松岡親司	代表委員	種井一平
代表委員	石上義則	代表委員	沢田祐磨
代表委員	山下敏弘	代表委員	松原直司
代表委員	大佛翔太郎	代表委員	上田清春
代表委員	山下源左衛門		

・退任された代表委員はつぎのとおり。

宮澤裕二	木村留男	糸崎弥央
佐々木祐太郎	橋爪佳子	

引き続き石川県勤労者共済生活協同組合 第 70 回通常総代会も同時に開催された。

2025 年度については、組合員の拡大、出資増強をはかると共に、総合(慶弔)共済のほか、連合会の各種共済事業に関する普及宣伝を展開していく。

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	会 場
10 月 1 日	(水)	自治体要請 自治体担当者会議	フレンドパーク石川
〃 〃	〃	自治体要請 連合石川地方議員団懇談会	フレンドパーク石川
4 日	(土)	ろうきんフェスタ 2025	産業展示館 2号館
9 日	(木)	中部労福協研究集会	名古屋市
11 日	(土)	親子ふれあい芋ほり体験会	内灘町
16 日	(木)	中部福祉会館協議会幹事会	彦根市
16 日	(木)	食とみどり水 NW 幹事会	連合石川
22 日	(水)	福祉グラウンドゴルフ中央大会	金沢市民芸術村
24 日	(金)	ライフ・サポートセンターチャリティゴルフ大会	白山カントリー倶楽部
28 日	(火)	連合石川定期大会	地場産業振興センター
11 月 7 日	(金)	石川県勤労者互助会 役員会	ろうきん本店ビル
15 日	(土)	食とみどり水 NW 支援米発送式	フレンドパーク石川

セカンドライフセミナーを県下4会場で開催



挨拶される狩山運営委員長

石川労福協ライフ・サポートセンターは、「人生100年時代：55歳から完全リタイア後の家庭経済を考察＝定年後の働き方の選択」と題して、セカンドライフセミナーを開催した。

七尾市・金沢市・小松市・白山市の各会場には、総勢107組148名が来場され、夫婦での参加が多く見受けられた。

このうち金沢会場では、主催者を代表して狩山久弥石川労福協ライフ・サポートセンター運営委員長（金沢地域ライフ・サポートセンター代表幹事）の挨拶の後、社会保険労務士法人ウィズ代表・年金アドバイザー 木村 めぐみ氏、特定社会保険労務士・日本年金学会会員 西村 大氏の講師陣による講演が行われた。

定年後の働き方の選択にあたり、定年前の準備

期間における雇用保険・社会保険・公的給付をまず知ること、年収の壁の更なる理解と60歳から完全リタイアまでの働き方の選択、国民共通的「年金制度の誤解」、年金の支給開始年齢の「繰上げ・繰下げ」制度の理解、世帯（家庭）で考える老齢厚生年金（老後資金に2,000万円が必要なのか）などについて実情をまじえながら分かりやすい説明があった。

講演後、参加者からは「年金制度の理解が深まった」「定年後の夫婦での働き方の選択に大いに参考にしたい」などの意見が聞かれ、講師陣による個別相談にも多くの方が参加された。

また、あわせて、北陸労働金庫、こくみん共済coopにも多数相談が寄せられた。

来年度も、石川労福協ライフ・サポートセンターとして県下4会場での開催を予定している。



木村氏



西村氏

無料セミナーを開催



講演を行う宮越氏

2025年8月2日（土）フレンドパーク石川において、北陸労働金庫が主体的に企画した、無料セミナーが開催された。

「親から子どもに教えるお金の話」と題して、FPLaboユニオン代表取締役 宮越 肇氏に講演をしていただいた。

セミナーでは、社会問題となっているオンライン課金、SNS関連の詐欺、高額請求など子どもを取り巻く金銭トラブルが多発している現状を踏まえ、親から子へ「お金の話」をどう伝えればいいのかを実体験をまじえながらお話していただいた。

「あーせい！こーせい！」のティーチングではなく、積極的に子どもの話を傾聴し、「気づき」を与えるコミュニケーションが大切であると講演をしめくくった。